

府立学校におけるクラスター（５名以上）発生状況

(令和３年１月１８日現在)

		校内要因	感染が広がったと想定される要因
1	A校	部活動	○向かい合って発声する場面の多い競技で、活動中はマスクを着用していたが、休憩中の水分補給や更衣等でマスクを外すことがあった。 ○陽性となった生徒と部活動以外の交遊があった生徒も陽性者となった。
2	B校	部活動	○屋内で運動を伴う部活動において、ウォーミングアップ時などはマスクを着用していた。 ○ただ、大会を想定した練習の際に、生徒間の距離を取らずに１５分以上マスクを外して行ったり、その後の指導の際にマスクを外している場面があった。
3	C校	部活動	○活動中にマスクをせずに大きな声を発する場面があった。 ○体育館の換気状態も十分でなかった。
4	D校	部活動・プライベート	○部活動中、マスクを着用し実施していたが、呼吸が苦しくなる等で、マスクを外して活動することがあった。 ○生徒のプライベートでの行動や交友関係が影響し、陽性者が確認された。 *友人宅での宿泊や商業施設での交遊
5	E校	昼食・その他	○保健所による疫学調査・濃厚接触者の特定においても、共通する要素は見出されず。 ○その後の学校での調査で、陽性者の何人かは、昼休みにグループでマスクをせずに話しながら食事をしていたことが確認されている。 ○また、その中の一人が他の友人たちとプライベートで食事に行き、その中でも感染が確認された。 ○これ以外でも何らかの理由で感染が広がったが、その原因は不明。
6	F校	プライベート	○プライベートでの旅行の参加者間で陽性者が複数確認された。 *参加者１０名前後（全員同校生徒）
7	G校	不明	○一定数、陽性者がいるものの、保健所からは校内でのリンクについての明言はなかった。 ○日常的に打合せ等を行っていた教職員間で感染が確認されたが、打合せ中にマスクを着用しており、原因は不明。